

◎巻頭言

「民の力」を強くして、世の乱れを治められる地球民族の連帯を、必ずや築くのだ。

(「大白蓮華 2020 年 5 月号」 4 ページ)

◎巻頭言

創価の女性のスクラムこそ、地域に社会に歓喜と和楽と幸福を広げゆく平和の陽光なのだ。

(「大白蓮華 2017 年 4 月号」 5 ページ)

◎御書の世界 第3巻

太陽の仏法は、万人の生命を等しく照らし、一人一人の生命を妙法の福田に変えていくのです。そして社会に、世界に、妙法の人華を爛漫と咲き薫らせていくのです。人間革命、立正安国、世界広宣流布こそ、太陽の仏法が目指すものです。

(『御書の世界』第3巻 134 ページ)

◎白米一俵御書

「凡夫は志と申す文字を心えて仏になり候なり。」

(御書新版 2053 ページ・御書全集 1596 ページ)

◎御書の旭光を

万人が成仏できる民衆仏法である。凡夫がそのまま仏になれる要諦が、信心の強き「志」なのだ。「心こそ大切」である。法のため、友のため、立正安国のため、自らも悩みと闘いながら、今できることに真心を尽くす。そこに揺るがぬ幸福境涯が開かれる。

(聖教新聞 2021 年 2 月 20 日付)